

報告者・討論発言者一覧

※五十音順。所属は研究会開催時のもの

伊賀 司 神戸大学
加藤 剛 総合地球環境学研究所
金子 芳樹 獨協大学
河野 元子 政策研究大学院大学
塩崎 悠輝 同志社大学
篠崎 香織 北九州市立大学
柴田 直治 朝日新聞社
鈴木 絢女 福岡女子大学
鳥居 高 明治大学
中村 正志 JETROアジア経済研究所
西 芳実 京都大学地域研究統合情報センター
福島 康博 東京外国語大学
舩谷 鋭 立教大学
水野 広祐 京都大学東南アジア研究所
山本 博之 京都大学地域研究統合情報センター
横山 久 津田塾大学
吉川 洋子
鷺田 任邦 東洋英和女学院大学

日本マレーシア学会(JAMS)

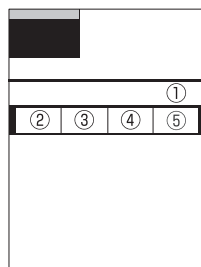
日本マレーシア学会 (Japan Association for Malaysian Studies, JAMS) は、マレーシアおよびその近隣地域の研究を目的に1992年に設立されました。現在、国内在住の研究者を中心に約190名の会員が所属しています。

JAMSは、

- 国際レベルで参照されるマレーシア研究の最前線研究者の育成
- 海外地区活動を含む多種多様な連携研究会を結ぶネットワーク作り
- 国内の学会・研究会や研究プロジェクトをつなぐ研究連携
- 実務者の視点を取り入れた研究と社会の橋渡しを進める社会連携
- 自然災害対応などにおける研究活動を通じた社会への実践的貢献
- ウェブサイトや会報『JAMS News』を通じた会員や社会への発信など、マレーシア研究を軸に幅広い活動を行っています。

JAMSの活動について詳細はウェブサイト(<http://jams92.org/>)をご覧ください。

表紙写真の解説



- ①投票所で配布される整理番号票。有権者は生年月日によって各投票室に振り分けられ、該当する整理番号票を手にとり投票へと向かう
- ②サバ州トゥアランの投票所。投票率は、サバ州、サラワク州を含むマレーシア全体で84.4%にのぼった
- ③サバ州ケニンガウでのチェラマ参加者。タブレット端末で動画を撮影し、インターネットで共有するなど新しいメディアの活用が見られた
- ④DAP (民主行動党)のシンボルであるロケット型の看板にも「Ini Kali Lah (今度こそ!)」の文字が躍る〈サバ州コタキナバル〉
- ⑤サバ州プナンパンのチェラマで使われていた大型スクリーン。動画を活用して観衆に訴える手法を使う政党が多く見られた